

open your heart

～ココロを開け～

プログラム

受付時間 13:00～

program 13:30～17:30

薬物依存症者たちの話
家族の話
フォーラム祝賀会

講演

近藤 恒夫氏

(NPO法人APARI 理事長・日本DARC 代表)

テーマ

「薬物依存者の孤立を防ぐために」

ところ

ひと・まち交流館京都

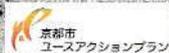
※入場無料

10月10日(土)

<http://kyotodarc-fellows.blogspot.com/>

京都マルツのブログ
京都DARC Fellows

主催 特定非営利活動法人 京都DARC
共催 京都府 京都府教育委員会
京都府社会 自由人権協会京都
京都府精神科医療所協会
京都府精神保健福祉士協会
京都府社会福祉事業団
京都府社会福祉士会



お問い合わせ▶NPO法人京都DARC: 075-645-7105



※有料駐車場がございますが、当日は満車が予想されるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



特定非営利活動法人 京都DARC

12周年記念フォーラム

<http://www.yo.rim.or.jp/~kyo-darc/>

京都DARCとは

京都DARC(ダルク)は薬物依存症から回復したいと望む人の手助けをすることを第一の目的として、2003年に開設されました。当事者が当事者を支援するという「セルフ・ヘルプ」の理念を大切にしながら、回復のためのさまざまな環境作りをしています。

薬物依存症はその性質上、複雑に絡み合った問題を内包し、当事者だけでは解決できない問題が数多くあります。京都DARCでは家族・司法・教育・医療・福祉など多方面からのサポートを受けて問題解決に取り組む一方、当事者支援活動の先鋒として各機関に対するさまざまな働きかけを行っています。

薬物依存症からの「確かな回復の道」をともに考えていける社会、京都DARCはその役割の一端を当事者とともに担っています。

講師紹介

近藤 恒夫さんプロフィール

1941年生まれ 京都府出身
日本マルツ本部代表
特定非営利活動法人 アジア太平洋地域アクション
副代表理事
京都府社会 自由人権協会 京都府支部
代表理事
1983年 京都府社会 自由人権協会 京都府支部 代表理事
1983年 京都府社会 自由人権協会 京都府支部 代表理事
1983年 京都府社会 自由人権協会 京都府支部 代表理事
1983年 京都府社会 自由人権協会 京都府支部 代表理事



1994年 第1回京都府社会 自由人権協会 代表理事
2001年 第3回京都府社会 自由人権協会 代表理事
2004年 第5回京都府社会 自由人権協会 代表理事
2013年 第14回京都府社会 自由人権協会 代表理事

12周年を迎え

いつも京都DARCを支えてくださり、ありがとうございます。

2003年9月「薬物をやめたい、やめ続けたい」と悩む仲間のために活動を始めた京都DARCが、おかげさまで今年12周年をむかえます。みなさまのあたたかいご支援のおかげと感謝申し上げます。

テレビやメディアでしばしばとりあげられるようになった薬物を含むアディクション。以前に比べれば、身近に起こりうる問題として受けとめられるようになりつつあります。一方で「止めた」と思っている、また使ってしまう薬物依存症にはまりとみ孤立する本人、本人の変わりぶりに振り回れ動く家族にとって、どんな相談先があり、どんな回復への道があるのか、という本当に大切なことが伝えられはじめたのは、つい最近のことのように感じます。

京都DARCは、日々グループミーティングを行いながら、薬物依存症から回復したいと望む仲間の集まる場所であり続けています。自分の他にも同じ問題で苦しむ、今はそこから一歩一歩前進している仲間がいること、そうした仲間と、居場所と行動をともにして過ごすところから、今日一日薬物を使わずにすごせる心地よさや、仲間とのつながり、ささやかな希望を実現できることでしょうか。

12周年のこの機会に、京都DARCからみなさんへの感謝と希望のメッセージをお伝えできればと、みなさまがたのお話しを心よりお待ちしております。

NPO法人京都DARC 事務局長 廣兼 英輪

